



Arcmanager シリーズ
自己復元書庫変換ツール

ユーザーズマニュアル

03 版

富士通エレクトロニクス株式会社

はじめに

■ 対象読者

本マニュアルは、C 言語の知識がある技術者の方を対象に記述しています。

■ 著作権

自己復元書庫変換ツールの著作権は、富士通エレクトロニクス株式会社が保有しています。

■ 商標

Sun、Sun Microsystems、Solaris およびすべての Solaris に関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。Microsoft、Windows は Microsoft Corporation の商標または登録商標です。

その他、会社名、製品名の固有名称は各社の商号、商標または登録商標です。本マニュアルに記載されている会社名、システム名、製品名等には必ずしも商標表示 (TM ・ ®) を付記していません。

■ 製品名称

本マニュアルでは、製品名称を次のように略して表記しています。

Solaris™ Operating System および Solaris™ オペレーティングシステムを Solaris OS と表記しています。

Windows Vista® operating system を Windows Vista と表記しています。

Windows® XP operating system を Windows XP と表記しています。

Windows® 2000 operating system を Windows 2000 と表記しています。

1. 本資料に記載した製品および製品の仕様につきましては、製品改善のため予告なしに変更することがあります。したがって、ご使用を検討の際には、本資料に記載の情報が最新のものであることを弊社技術担当、あるいは弊社営業担当にご確認ください。
2. 本資料に記載された情報・回路図は、当社製品の応用例として使用されており、実際に使用する機器への搭載を目的としたものではありません。また、これらの情報・回路図の使用に起因する第三者の特許権、その他権利侵害について、当社はその責任を負いません。
3. 本資料に記載された製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、当社担当営業までご相談ください。
4. 本資料に記載した内容を、弊社に無断で転載または複製することはご遠慮ください。
5. 本資料に記載された製品が、「外国為替および外国貿易法」に基づき規制されている貨物または技術に該当する場合には、本製品を輸出するに際して、同法に基づく許可が必要となります。
6. 本資料に記載された製品のパスワード機能は簡易的なもので、セキュリティ目的にはご使用になれません。お客様の機密情報保護を目的とした用途にはご使用にならないでください。
7. 各社が提供する開発ツール（コンパイラおよび付属のライブラリ）の不具合および仕様に関因する問題については弊社の保証対象外とします。

目次

1	概要	1
2	動作環境	1
3	使用方法	2
4	自己復元書庫変換ツールの仕様について	3
5	エラーリファレンス	3
	付録：自己復元書庫ファイルについて	i
i	仕様	i
ii	エラーリファレンス	i

1 概要

自己復元書庫変換ツールは、Arcmanager シリーズで作成した書庫ファイル、および暗号書庫ファイルを Windows 環境で動作する自己復元書庫ファイルに変換するためのプログラムです。

自己復元書庫変換ツールのファイル名は、次のとおりです。

amscnv 32 ビットアプリケーションです。

2 動作環境

自己復元書庫変換ツールの動作環境は、次のとおりです。

Solaris 9 OS on SPARC

Solaris 10 OS on SPARC

自己復元書庫ファイルの動作環境は、次のとおりです。

Windows Vista

Windows XP

Windows 2000

自己復元書庫ファイルの動作環境 (OS) は、すべて日本語版で、x86(32 ビット) ベースのコンピュータ上で動作するものです。

3 使用方法

自己復元書庫変換ツールは、Solaris OS のプロンプト上で起動します。

```
prompt%amscnv_1 [-option]_2 arc-file_ sfx-file
```

パラメータ	説明
arc-file	: 変換する書庫ファイルのファイル名を指定します。
sfx-file	: 変換後の自己復元書庫ファイルのファイル名を指定します。
オプション	機能
Q	: 自己復元書庫ファイルと同名のファイルが既に存在する場合でも、上書き確認の問い合わせなしに処理します。
F	: 自己復元書庫ファイル実行時に、復元先の問い合わせを行います。
W	: 自己復元書庫ファイル実行時に、問い合わせをダイアログ表示で行います。

例) base.amg を自己復元書庫ファイル conv.exe に変換する場合、変換後の自己復元書庫ファイルの実行方法により以下のようなオプションを加えます。

- (1) 問い合わせを行わない場合
prompt% amscnv_ base.amg_ conv.exe
- (2) 復元先指定をコマンド行で行う場合
prompt% amscnv_ -F_ base.amg_ conv.exe
- (3) 復元先指定をダイアログ表示で行う場合
prompt% amscnv_ -F_ -W_ base.amg_ conv.exe
- (4) パスワード等の入力をダイアログ表示で行う場合
prompt% amscnv_ -W_ base.amg_ conv.exe

¹ “_” は空白文字を意味します。

² [] は省略可能であることを意味します。

4 自己復元書庫変換ツールの仕様について

自己復元書庫変換ツールの仕様は次のとおりです。

Arcmanager で作成した書庫ファイル以外のものを処理させた場合、エラーとなります。

変換後の自己復元書庫ファイルと同名のファイルが既に存在する場合、上書き確認の問い合わせを行います。

(Q オプションを指定すると、問い合わせを行いません。)

変換後の自己復元書庫ファイルのファイル名に拡張子 “.exe” が指定されていない場合、自動的に “.exe” を付加します。

自己復元書庫ファイル実行時にファイルの復元先フォルダを指定できます。

(F オプションを指定)

自己復元書庫ファイル実行時にユーザ入力用ダイアログを表示します。

(W オプションを指定)

5 エラーリファレンス

自己復元書庫変換ツールのエラーコードは次のとおりです。

エラーコード	メッセージ	内容
0		正常終了
1	This file isn't found.	ファイルが見つかりません。
2	This file can't open.	ファイルがオープンできません。
3	This file already exists.	ファイルが既に存在します。
8	Illigal option.	不正なオプション指定です。
10	This file format isn't supported.	このファイルのフォーマットは、サポートしていません。
100	System error.	システムエラーが発生しました。

付録：自己復元書庫ファイルについて

i 仕様

自己復元書庫ファイルの仕様は次のとおりです。

自己復元書庫ファイルを起動させると、コマンドプロンプトを表示します。

復元対象のファイルは、カレントフォルダへ復元します。

または、自己復元書庫変換ツールでF オプションを指定した場合には、復元先の入力を要求します。

復元対象のファイルが既に存在する場合、上書き確認の問い合わせを行います。

ただし、復元対象のファイルの最終書き込み日時の方がより新しい場合には、復元処理は行いません。

書庫ファイルにパスワード/暗号鍵が設定されている場合、パスワード/暗号鍵の入力を要求します。

- ・ 正しいパスワード/暗号鍵を入力した場合は、復元処理を実行します。
- ・ 不正なパスワード/暗号鍵を入力した場合は、再度入力を要求します。
- ・ パスワード/暗号鍵を3回間違えるとプログラムを中断します。

ii エラーリファレンス

自己復元書庫ファイルのエラーコードは次のとおりです。

エラーコード	メッセージ	内容
0		正常終了
1	The password is not correct.	パスワードが一致しません。
3	The archive file is broken.	書庫ファイルが正しくありません。
4	The key is not correct.	暗号鍵が一致しません。
100	System error.	システムエラーが発生しました。

FUJITSU